



## わたしの選ぶ断食

## 菜の花や垣根にはさむわらじ銭

一茶

菜の花の季節、お遍路さんや巡礼の人々が道を行き交います。

わらじ銭は、わらじを買う金、またその程度の、ほんのわずかの旅費です。

そっとわらじ銭を垣根にはさむ慈悲の思いやり。一茶の時代には、「利他」のところがいきいきと息づいていたのでしょう。

3月1日は「灰の水曜日」です。四旬節が始まります。

「四旬節の悔い改めは、単に内的で個人的なものであるだけでなく、外的で社会的なものでなければならない。」(第二バチカン公会議「典礼憲章」110)

わたしたちの四旬節の祈りが行いが、「外的」で「社会的」でなければならないことをしっかりと心に刻み、四旬節が真実の恵みの季節になるように努めましょう。

ヒントは、イザヤ書にあります。

## ローマ教皇四旬節メッセージ

(前略)

金持ちと貧しい人ラザロに関する福音は、復活祭を迎える準備をするうえでよい助けとなります。灰の水曜日の典礼は、この金持ちと同じような体験を、非常に感動的なかたちで味わうようわたしたちを招いています。司祭はわたしたちの頭に灰をかけながら、「あなたはちりであり、ちりに帰って行くのです」と繰り返し唱えます。

(中略)

すべてのキリスト者にメッセージを伝えます。金持ちは、まだ生きている自分の兄弟たちのもとにラザロを送って、彼らによく言い聞かせて欲しいとアブラハムに頼みます。しかしアブラハムは答えます。「お前の兄弟たちにはモーセと預言者がいる。彼らに耳を傾けるがよい」(29節)。金持ちの反論に対して、アブラハムは次のように付け加えます。「もし、モーセと預言者に耳を傾けないのなら、たとえ死者の中から生き返る者があっても、そのいうことを聞き入れはしないだろう」(31節)。

こうして金持ちの真の問題が明らかになります。彼の悪の根源は、「みことばに耳を傾けないこと」です。その結果、彼は神を愛さなくなり、隣人を軽蔑するようになりました。みことばは人々の心を回心させ、再び神に立ち返らせることのできる、生き生きとした力です。みことばというたまものに心を閉ざせば、兄弟姉妹というたまものにも心を閉ざしてしまいます。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、四旬節はみことば、諸秘跡、そして隣人の中に生きておられるキリストと新たに会おうのにふさわしいときです。

(中略)

互いのために祈りましょう。キリストの勝利にあずかることによって、わたしたちが弱い人々や貧しい人々に自分自身の扉を開くことができまうように。そのときわたしたちは、復活祭の喜びに満たされて、あかしすることができるのです。

教皇フランシスコ、2017年四旬節メッセージ  
(一部抜粋)

(カトリック中央協議会 訳)

葦のように頭を垂れ、荒布を敷き、灰をまくこと  
それを、お前は断食と呼び  
主に喜ばれる日と呼ぶのか。

わたしの選ぶ断食とはこれではないか。  
悪による束縛を断ち、軛の結び目をほどいて  
虐げられた人を解放し、軛をことごとく折ること。  
更に、飢えた人にあなたのパンを裂き与え  
さまよう貧しい人を家に招き入れ  
裸の人に会えば衣を着せかけ  
同胞に助けを惜しまないこと。

(イザヤ書 58:5-7)

## 教会暦

03月01日 灰の水曜日  
03月17日 日本の信徒発見の聖母(祝日)  
03月20日 聖ヨセフ(祭日)  
03月25日 神のお告げ(祭日)



(ホームページ)

教会へのチャレンジのヒント（ローマ教皇文書を読んでみよう）

教皇ベネディクト16世

教皇フランシスコ

一般謁見演説講話「キリストと教会の関係の神秘」

(2006年03月15日～2007年02月14日)

01. 教会に対するイエスの望みと、十二人の選び
02. キリストの証人・使者としての使徒
03. 交わりのたまもの
04. 交わりへの奉仕
05. 時間における交わりとしての聖伝
06. 使徒伝承
07. 使徒継承
08. 漁師ペトロ
09. 使徒ペトロ
10. ペトロ——キリストがその上に教会を建てた岩
11. 最初に呼ばれた者（プロトクレオトス）であるアンデレ
12. 大ヤコブ
13. 小ヤコブ
14. ゼベダイの子ヨハネ
15. イエスの友としての使徒
16. 使徒ヨハネの著作
17. パトモスの幻を見る者
18. 使徒マタイ
19. 使徒フィリポ
20. 使徒トマス
21. 使徒バルトロマイ
22. 熱心党のシモンと、タダイと呼ばれるユダ
23. イスカリオテのユダとマティア
24. タルソスのパウロ
25. パウロ——キリストを中心に置くこと
26. パウロ——わたしたちの心の中におられる聖霊
27. パウロ——教会における生活
28. 使徒聖パウロの協力者であるテモテとテトス
29. 最初の殉教者聖ステファノ
30. 聖パウロの協力者たち
31. プリスキラとアキラ
32. 福音に奉仕した女性たち



一般謁見演説「教会の神秘」

(2013年05月29日～2013年11月06日)

01. 神の家族としての教会
02. 神の民としての教会
03. キリストのからだとしての教会
04. 聖霊の神殿としての教会
05. キリスト信者の母である教会
06. 母である教会
07. 唯一の教会
08. 聖なる教会
09. 普遍の教会
10. 使徒的教会
11. 教会の似姿であり模範であるマリア
12. 聖徒の交わり
13. 聖徒の交わり（二）

一般謁見演説「教会について」

(2014年06月18日～2014年11月26日)

01. 教会について
02. 教会の一員
03. 新しい契約と新しい民
04. 教会は一つであり、聖である
05. 母である教会
06. あわれみのわざを教える教会
07. 普遍であり、使徒継承である教会
08. カリスマについて
09. キリスト教の他教派との一致
10. 終末におけるキリスト者の希望
11. キリストのからだである教会
12. 教会の目に見える現実と霊的な現実
13. 聖なる母である位階的教会
14. 司牧活動に必要な資質と徳
15. すべての人に対する聖性への招き
16. 神の国に向けて旅する教会



※ペトロ文庫の他、カトリック中央協議会ホームページで全文が閲覧できます。  
リンクはweb版ガウデーテ2017年03月号からが便利です。